

第13回

「身体感覚活性化(世にも珍しい)マザークラス」 医療者向けセミナー

身体感覚活性化マザークラスは、自主グループ、フムフムネットワークが福岡市で1996年から行い、今年で22年目を迎えます。また2005年からは新たな形で福岡県立大学で開催していますが、いずれも参加いただいた女性から絶大な支持を得ています。単なる妊婦参加型ではなく、私たちが探究した実践方法(わざ)を用いて、妊婦が自らの力に目覚めその力を信頼し引き出す過程は学会誌や商業誌等でも広く紹介され、全国でも高い注目を得ています。私たちはこのクラスを医療者の方々にもっと知って頂きたいと、2005年よりセミナーを行って参りました。

今年も医療者向けセミナーを以下のように開催させていただくことになりました。特にドゥーラ体験は毎年好評をいただいております。ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

1. 日時:2017年11月23日(木・祝) 10時開始(予定) *詳細はホームページをご覧ください。

2. テーマ:「身体感覚活性化マザークラス」の哲学と実践

3. 内容:

① 講演 「わざを極める」—マザークラスにおける助産のわざ—

国際医療福祉大学大学院 助産学分野教授 佐藤 香代

② 食体験

③ スライドショーとマザークラス体験 :「世にも珍しいマザークラス」を体験しよう

- ・氣功 国際医療福祉大学大学院 助産学分野教授 佐藤 香代
- ・イメージリー(スライドショー)
- ・シェアリング(ロールプレイ)
- ・ドゥーラ体験(ロールプレイ)

※参加者の方に会場で実際に体験していただきます。床にお座りいただきますので、リラックスできる服装、脱ぎ履きしやすい靴でお越し下さい。

4. 対象:助産師 保健師 看護師 医師
学生 その他 50名



5. 参加費(予定):

一般 8000円 学生 4000円 [事前振込み]

6. 場所:

福岡県立大学 附属研究所 1階 大セミナー室
福岡県田川市伊田 4395 番地

(交通機関)

アクセス詳細につきましては、福岡県立大学ホームページもご参照ください。

<http://www.fukuoka-pu.ac.jp/>

- ・九州自動車道 八幡ICから25分
- ・JR田川伊田駅より徒歩約15分
- ・天神バスセンター→福岡県立大学(約1時間20分)(大学構内にバス停があります。)
- ・小倉駅バスセンター→東町バス停で下車(約1時間) 徒歩約15分

<駐車場> *福岡県立大学 第一駐車場 第二駐車場があります。約200台 駐車できます。

7. 申し込み方法:

メールまたは FAX で

氏名 住所 職種 連絡先 このセミナーを何でお知りになったか

を記載の上お申し込みください。

資料準備の都合上 11月17日(金)までに、お申し込みください。

* 複数名同時にお申し込みをされる際には、お一人様ごとに上記の項目を記載いただきますようお願いいたします。

* 入金後 2 週間たっても確認の連絡がない場合には、問い合わせ先までご連絡下さい。

[メールでのお申し込み]

件名を「第 13 回申し込み」とし、ekobayashi@fukuoka-pu.ac.jp (担当: 小林) までお送りください。返信メールが届きましたら、下記の振込口座へ参加費をご入金ください。入金確認後、再度確認メールでご連絡いたします。

[FAX でのお申し込み]

FAX 番号: 0947-42-2073 までご送信ください。(番号のお間違えにはご注意ください。)

折り返し FAX で返信させていただきますので、特に FAX 番号の記載忘れにはご注意ください。返信の FAX が届きましたら、下記の振込口座へ参加費をご入金ください。入金確認後、再度確認の FAX を送信いたします。

振込先：ゆうちょ銀行 17430-14470091

郵便局以外から振込みの場合：

ゆうちょ銀行 748 (ななよんはち) 支店 普通 1447009

口座名義人：フムフムネットワーク

【重要：申し込み後のキャンセルについて】

入金後のキャンセル及び、当日欠席の場合でも返金はいたしません。あらかじめご了承ください。なお、代理の方のご出席も受け付けます。その場合には、入金確認後にお送りしているメールもしくは、FAX をご持参ください。

問合せ先:

〒825-8585 福岡県田川市伊田4395

福岡県立大学看護学部 女性看護学/助産学領域 担当: 小林絵里子(こばやしえりこ)

Tel/Fax 0947-42-2073 E メール ekobayashi@fukuoka-pu.ac.jp

主 催 福岡県立大学看護学部 女性看護学/助産学
共 催 フムフム(FM²)ネットワーク

福岡県立大学ヘルスプロモーション実践研究センター事業